

大野城市安全で安心のまちづくり防犯対策推進プラン【第3次】【概要版】(案)

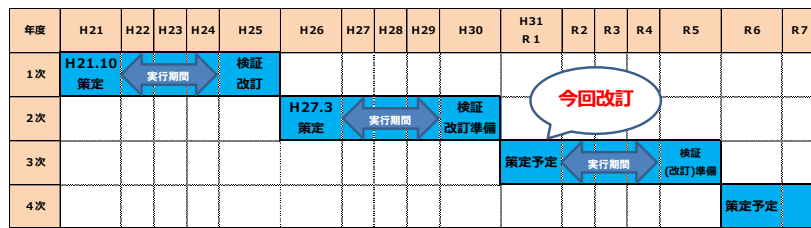
第1章 プランの基本的な考え方

1. プランの目的

大野城市では、犯罪のない安全で安心して暮らせる社会の実現を目指して、「大野城市安全で安心のまちづくり防犯対策推進プラン」を平成21年10月に策定し、本市の防犯のまちづくりを総合的、計画的に推進しています。

平成26年度にプランの改訂を行い、平成30年度までの第2次プラン期間中、本市の街頭犯罪認知件数は大幅に減少し、大きな成果を挙げていますが、ニセ電話詐欺をはじめとする特殊詐欺犯罪の巧妙化など、時代の変化に伴い、犯罪の手法も変化しており、楽観視はできない情勢です。第2次プラン期間の終了に伴い、街頭犯罪認知件数の大幅な減少という成果を挙げた現プランの基本理念、体系を生かしつつ、犯罪のないまちづくりをさらに推進するため、「第3次プラン」を策定するものです。

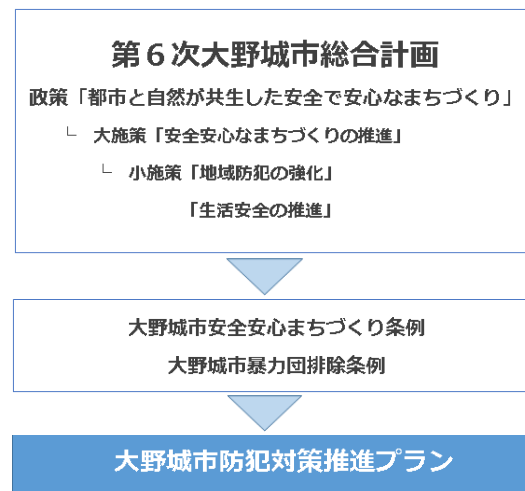
2. プランの期間



4. プランの対象となる犯罪

侵入盗 (空き巣など)	自動車盗	オートバイ盗
自転車盗	車上ねらい	部品ねらい
ひったくり	性犯罪	特殊詐欺

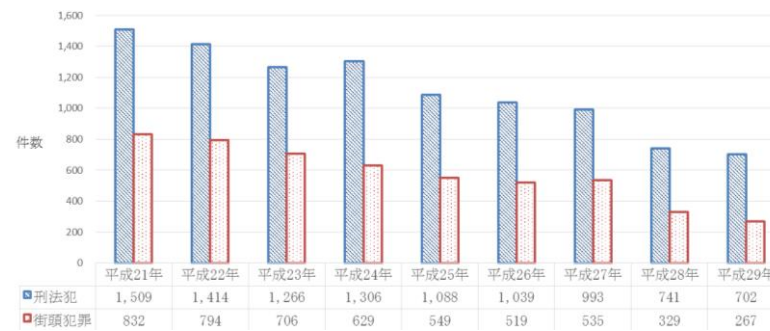
3. プランの位置づけ



第2章 犯罪の現状と課題

1. 大野城市における犯罪の発生状況と傾向

本市における刑法犯認知件数、街頭犯罪認知件数とも、減少傾向となっています。主な要因として、本市において平成21年に策定した防犯対策推進プランに基づき、市民一人ひとりが防犯意識を高め「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを実践し、防犯パトロール登録員の増加や市内27区全てに自主防犯団体が結成され、子どもの見守り活動や防犯活動を実施していることが考えられます。



2. 市民アンケート結果

	満足度	重要度	認知度	優先度
防災・防犯機関との連携	3.25	4.34	80.7%	20.0%
空き家対策	2.83	4.13	68.1%	7.4%
防犯意識向上の啓発	3.07	4.07	80.8%	4.5%
警察と連携した総合的な防犯対策	2.96	4.37	78.5%	23.6%

生活環境の安全・安心(防犯)の市民意識・満足度調査結果は、平成27年度より微増となっており、項目別では空き家対策の満足度が低い結果となっています。また、優先度は項目による差が大きく、防災・防犯機関との連携、警察と連携した総合的な防犯対策が高く、重要度も高い結果となっています。

3. 防犯に関する課題

(1) 第2次プランからの課題

- ①特殊詐欺の増加
- ②防犯団体との情報の共有化
- ③防犯パトロール登録員の高齢化
- ④街頭見守りカメラの設置
- ⑤空き家、空き地対策

(2) 新しい課題

- ①犯罪における弱者の安全確保
- ②交番との連携
- ③西鉄の高架化、東地区の住宅化
- ④ネット社会と少年非行

第3章 犯罪の起こりにくいまちづくりに向けた具体的取り組み

1. 具体的取り組みのテーマと実行プラン

基本目標

「地域と連携した防犯のまち大野城」

～安全安心な生活環境の実現に向けて～

2. 実行プラン

